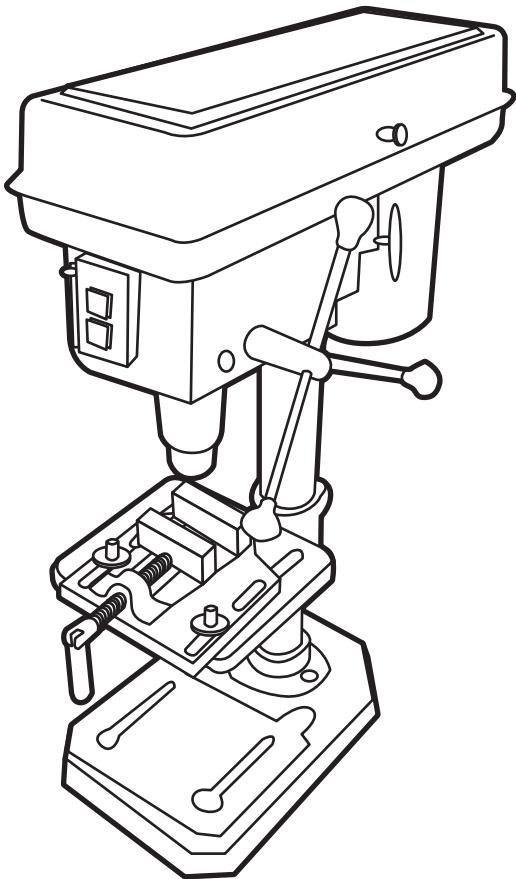


# **E-Value DRILL-PRESS**

## **卓上小型ボール盤 DP-375V**

### **取扱説明書**



この度は、**E-Value** 卓上小型ボール盤 DP-375Vをお買上げいただきまして、ありがとうございました。

御使用に際しては、必ず説明書をよくお読みの上、御使用ください。又、この説明書は必ず保存してください。

# 電動工具を正しく安全にお使いいただくために

## 【作業に適した服装で】

- 機械の回転部に巻き込まれないよう袖口の開いたもの・ネクタイなどは身につけないでください。
- 作業中は保護メガネをご使用ください。  
また、作業環境により、安全靴、保安帽、マスクなどもご使用ください。

## 【気持ちにゆとりを】

- いらいらした気持ちで作業することは危険です。機械はゆとりをもって慎重に取り扱ってください。

## 【感電事故の防止を】

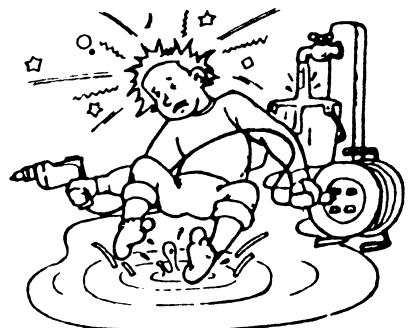
- 湿気はモーターなどの電気絶縁性を低下させ、感電事故のもとになります。雨中、濡れた所、湿った所、機械内部に水や油の入りやすい場所では使用しないでください。
- 万一の感電事故を防止するために、漏電しゃ断器の設置された電源に持続されることをおすすめします。



きちんとした服装で作業してください。

## 【作業場所の選定】

- ガソリン、ガス、塗料、接着剤などの引火性のある危険物の近くでは、引火または爆発を起こす恐れがありますので、使用しないでください。



## 【騒音防止規制を守る】

- 騒音に関しては、法令および各都道府県などの条例で定める規制があります。周辺に迷惑をかけぬよう、規制値以下で使用されることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

## 【作業場所の安全を確かめる】

- 作業場所は十分に明るくし、いつも整理整頓に心がけてください。
- 作業場所には関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険ですから注意してください。

## 【機械の準備】

- 機能に適した用途以外や、指定外の刃物は使用しないでください。また、使用限界が表示されているものは必ずその範囲内で使用してください。
- 刃物類や付属品の取り付けは取扱説明書に従って確実に行なってください。締め付け不足や指定工具以外での締めすぎは危険です。
- ネジ類などはゆるんだり、脱落していませんか？運転前に必ず確認してください。
- スパナ、レンチ、ねじ回しなどの工具類は機械から取りはずしてあるか確認してください。

### 【使用電源は正しい電圧で】

- 電源は必ず銘板に表示してある電圧でお使いください。表示以上の電圧で使用されると回転が異常に高くなり大変危険です。また逆に低い電圧で使用されるとモーター故障の原因となります。

### 【プラグの差し込み】

- プラグを電源に差し込む前に、機械が突然に始動しないようにスイッチが切れていることを確認してください。

### 【スイッチに指をかけて運ばない】

- プラグを電源に差し込んだ状態で機械を持ち運ぶ場合はスイッチに指をかけないでください。誤ってスイッチが入り思わぬ事故につながることがあります。

### 【機械ご使用上の留意点】

- 常に足場に注意し、機械や体のバランスが保てる無理のない安定した姿勢で作業してください。
- 運転中に機械の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合は直ちに作業を中止してください。
- 機械や付属品はその能力をこえて使用したり、急激な操作はしないでください。
- 機械の運転中には刃物類や他の回転部および切り屑の排出部には手や顔などを近づけないでください。
- 使用後は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。また、停電の際も必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

### 【機械の保護】

- 機械は大切に取り扱ってください。誤って落としたり、ぶつけたりしますと外枠などが変形したり、き裂や破損を生ずる場合がありますので、十分ご注意ください。
- コードを持って運んだり、コードを引っぱってプラグを電源から抜いたりしないでください。また、コードを熱・油・薬品および傷つけやすいものから保護するようにしてください。
- 機械の風窓はモーターを冷やすのに必要な部分です。もしふさいだりしますとモーター焼損の原因となりますので注意してください。

### 【機械の点検・整備・保管にも気を配る】

- 点検・整備をするとき、または刃物類や付属品を交換するときには必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- 使用後の機械は手入れをし、常に最良の状態を保ってください。特にモーター部やスイッチ部のほこりは常に拭き取るよう心がけてください。
- 刃物類は常に手入れをして切れ味の良い状態でお使いください。機械に無理がかからず安全に能率よく、しかもきれいな仕上りが得られます。
- 損傷したコードは交換または修理に出してください。
- 使用しない機械や付属品の保管場所として次のような場所は避けてください。
  - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  - × 温度や湿度の急変する所
  - × 湿気の多い所
  - × 直射日光の当る所
  - × 振発性物質の置いてある所



無理な姿勢での  
作業は危険です。

# 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずお読みください。
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。  
ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。
3. 作業場は周囲状況も考慮してください。  
電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所では使用しないでください。  
作業場は十分明るくしてください。  
可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 感電に注意してください。  
電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
5. 使用中は、工具や切りクズに手や顔などを近づけないでください。  
けがの原因になります。
6. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。  
そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたときは、キリや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 使用中は、必ず、保護メガネを着用してください。

## ⚠ 注意

1. 工具類（キリなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。  
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 回転させたまま、放置しないでください。  
けがの原因になります。
3. 使用中は軍手等巻き込まれる恐がある手袋を着用しないでください。  
けがの原因になります。
4. 作業直後のキリや切りクズは大変熱くなっていますので、ふれないでください。  
やけどの原因になります。
5. 加工物はバイス、クランプ等でしっかりと固定してください。

## 注意

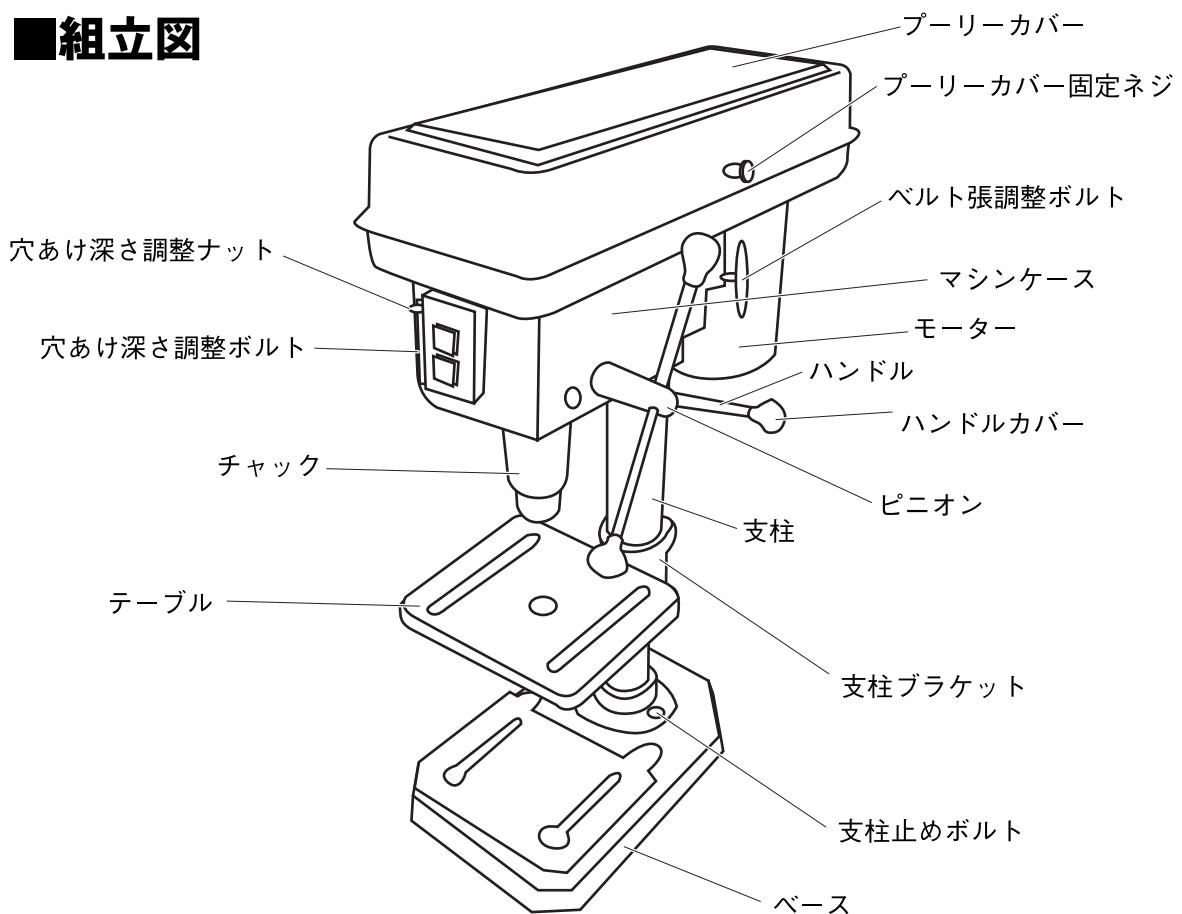
電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただけるために十分な太さのコードができるだけ短くお使いください。

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
0.75mm <sup>2</sup>	20m
1.25mm <sup>2</sup>	30m

## ■仕様

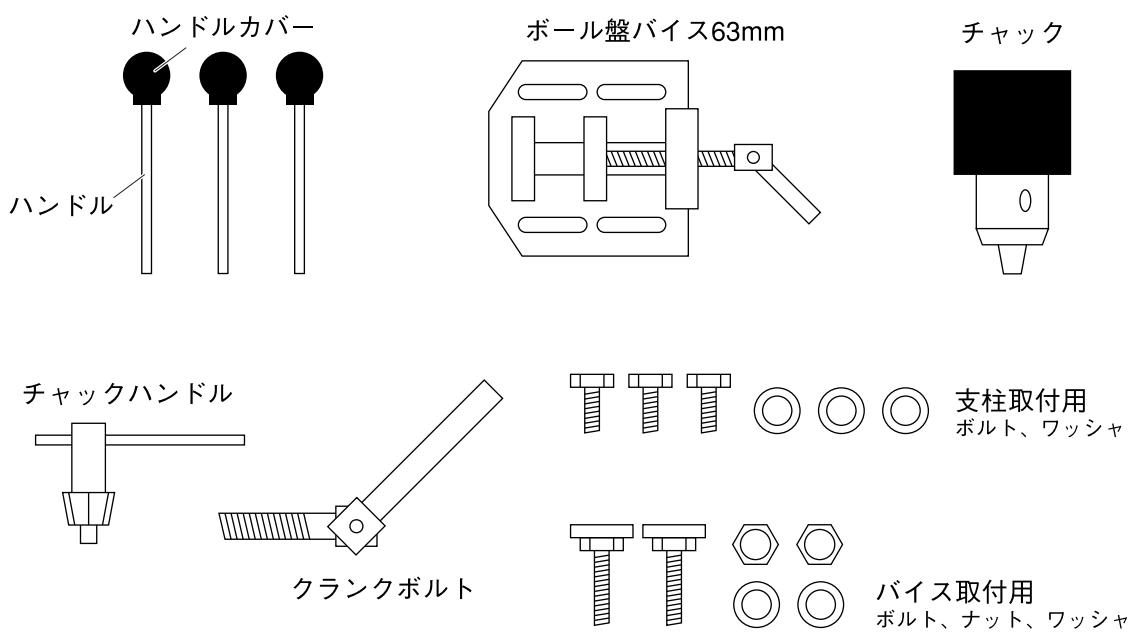
型式	DP-375		
チャック	13mm		
電圧	100V		
周波数	50Hz/60Hz		
電流	2.0A		
消費電力	320W/375W		
回転数 5段変速	ベルト	50Hz	60Hz
	1	2580min <sup>-1</sup>	3100min <sup>-1</sup>
	2	1950min <sup>-1</sup>	2340min <sup>-1</sup>
	3	1430min <sup>-1</sup>	1720min <sup>-1</sup>
	4	915min <sup>-1</sup>	1100min <sup>-1</sup>
	5	515min <sup>-1</sup>	620min <sup>-1</sup>
クイルとテーブル上面までの距離	185mm		
クイルとベース上面までの距離	285mm		
クイルの上下移動	50mm		
テーブルの大きさ	165mm×165mm		
ベースの大きさ	290mm×185mm		
クイルのセンターから支柱までの距離	100mm		
機械の高さ	600mm		
質量	20kg		

## ■組立図



## ■部品

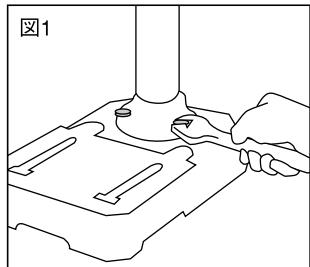
※部品明細については、9・10ページを参照してください。



## ■本体の組立方法

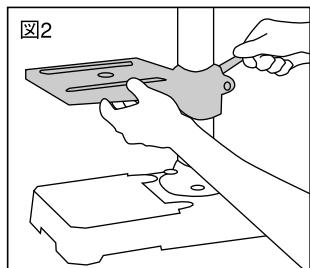
### 1.支柱とベースの組立

ベースの上に支柱をたてて、3つの穴を合わせてください。  
ボルトで3ヶ所を締め付けてください。 (図1)



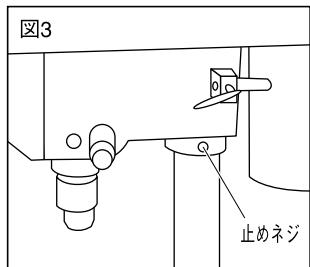
### 2.テーブルの取付方法

テーブルをベースの方向に合わせて、支柱に支柱ブラケットを差し込んでクランクボルトで固定してください。 (図2)



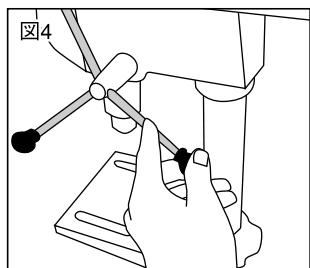
### 3.マシンケースの取付方法

マシンケースを支柱の上に差し込んでください。方向はベースの方向に合わせてください。止めネジが左右両側にありますので、六角棒レンチ (4mm) で固定してください。 (図3)



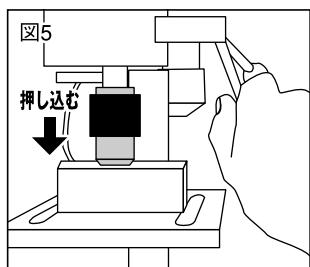
### 4.ハンドルの取付方法

ハンドルの先端にハンドルカバーをねじ込み、ピニオンの3ヶ所の穴にねじ込んでください。 (図4)



### 5.チャックの取付方法

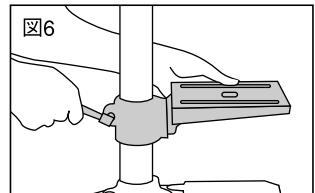
テーブルの上に木の角材を置いて、その上にチャックをのせてスピンドルとチャックの間は25mm位になるように、テーブルを調整してください。この場合、チャックはハンドル全開に開いてください。準備が終わりましたら、ハンドルを回して、スピンドルをチャックの穴に押し込んでください。 (図5)



## ■調整方法 (△警告：調整する前に必ず、プラグを電源から抜いてください。)

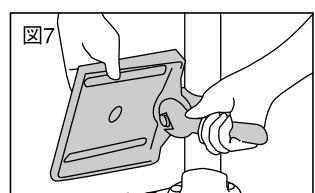
### 1.テーブル高さの調整

テーブルの上下調整は、クランクボルトをゆるめて上下させてください。  
調整後は、クランクボルトを強く締めてください。（図6）



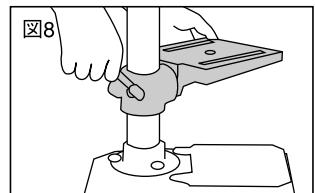
### 2.テーブル傾斜の調整

テーブルの裏側のベルトをゆるめ、角度を調整してください。調整後はボルトを強く締めてください。（図7）  
支柱ブラケットの角度目盛とテーブル後方中央にある印を合わせて、任意の角度に調整してください。テーブルは左右45°まで傾斜できます。



### 3.テーブルの回転

クランクボルトをゆるめ、適当な位置に回して、クランクボルトを強く締めてください。（図8）

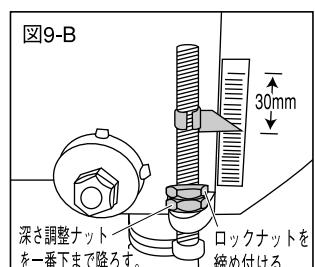
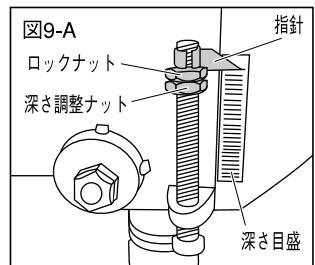


### 4.穴あけ深さの調整（最大50mm）

ハンドルを回してチャックを希望する深さまで下げる、穴あけ深さ調整ナットを下まで下げる。ナットが振動で動くようでしたら、ロックナットを回し下のナットにあたるまで下げるください。（図9-A）

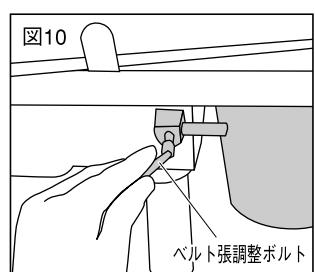
#### 例：深さ30mmに調整する場合

ハンドルを回して指針を30mm下げてください。その状態で調整ナットを一番下の当たる所まで下げるください。最後のロックナットで固定してください。（図9-B）



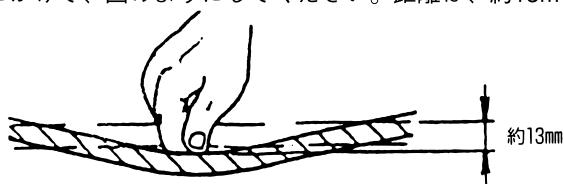
### 5.速度調整（回転数）

ブーリーカバーをあけてベルト張調整ボルトをゆるめてください。  
穴あけ作業に合った速度を選び、希望する速度にな合わせてベルトを移動させてください。（1～5）  
適度なベルトの張力が得られるまで、モーターを後の方へ押してください。調整後は、ハンドルをロックしてください。（図10）



### 6.ベルトの張力の調整

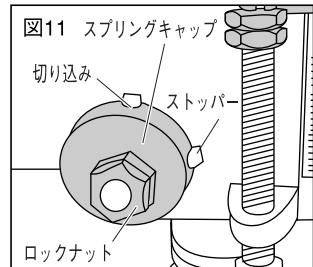
適度なベルトの張力のために、4kgの圧力、もしくは手の圧力をベルトにかけて、図のようにしてください。距離は、約13m+10%です。



## ■ピニオンシャフトの調整 (スプリング調整)

シャフトを上下させる時にスプリングが弱かったり、強すぎる場合に下記の要領で調整してください。

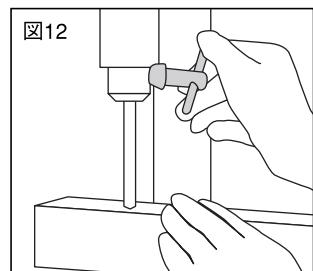
1. 2つのロックナットをゆるめてください。
2. スッパーにスプリングキャップの切り込みを合わせて固定します。  
スプリングの張力を強くしたい時は、スプリングキャップを左に回してください。又、弱くしたい時は右に回してください。
3. 調整後、2つのロックナットを締め付けてください。  
注) ロックナットを強く締めすぎないようにしてください。
4. 深さ調整ロックナットを一番上まで上げ、ハンドルを回してスプリングの張力をチェックしてください。  
注) 十分な張力がなければ、再度調整してください。



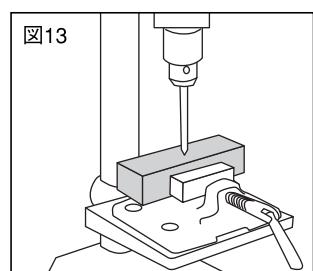
## ■ドリル刃の取り付け方法

(△警告：ドリル刃を取り付ける時、取り外す時は必ずプラグを電源から抜いて作業して下さい。)

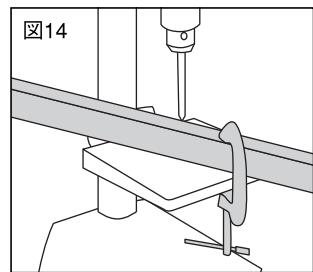
1. ドリル刃を1" (25.4mm) ほどチャック（口部）に差し込みます。  
小さなドリル刃使用時には、口部がドリル刃の軸にさわるまで差し込まないでください。チャックはハンドルでチャックを締める前に、ドリル刃がチャックのまん中にあるのを確かめてください。（図12）



2. ドリル刃装着時に、テーブルの上に木板を置くことで、ドリル刃がつき抜けても欠けたり傷がつくのを防ぎます。（図13）



3. テーブルに止められないような小さなもの加工する時は、ドリル・プレス・バイス（万力）などを使ってください。万力は必ずテーブルにボルトなどで固定してください。（図14）
4. 長い角材に穴あけする場合は、支柱の左側に角材があたるように固定してください。（図14）



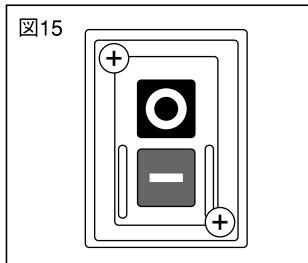
## ■スイッチの操作

このスイッチは安全のために、不意にスイッチに当たってもスイッチが入らない構造になっています。

スイッチを入れる場合は□を押してください。

スイッチを切る場合は○を押してください。（図15）

注) □を押し上げても中に入ったままにはなりません。又、□スイッチは上に上がりません。



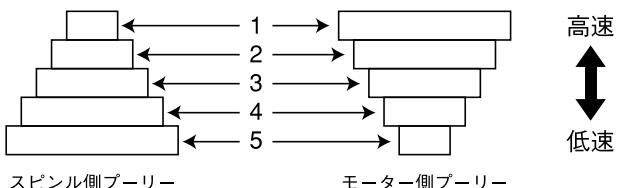
## ■ドリル径に対する最適回転数（ベルト位置）

### ●鉄工ドリルでの穴あけ

#### 一般鋼材

ドリル径	1	2	3	4	5
3mm	◎	○	○	○	○
4mm	○	◎	○	○	○
5mm	×	○	◎	○	○
6mm	×	×	○	◎	○
7mm	×	×	×	○	○
8mm	×	×	×	×	○

#### <ベルト位置>



◎切削性が最も良い

○切削性が良い

△荷重によって切削可能

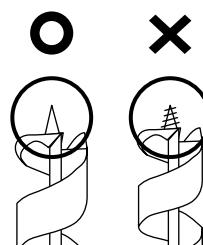
×切削性が悪い

#### 注意

①穴あけ作業中は、必ず切削油をご使用ください。

②上記推奨回転数は一般鋼材（SS400 5.7mm厚）・ステンレス板（SUS304 6.0mm厚）への穴あけテストに基づいておりますが、切削材料・切削条件等により異なる場合があります。

③ステンレス板に穴あけをする場合は、鋼材へ穴あけする場合より少し大きな荷重を掛けて下さい。



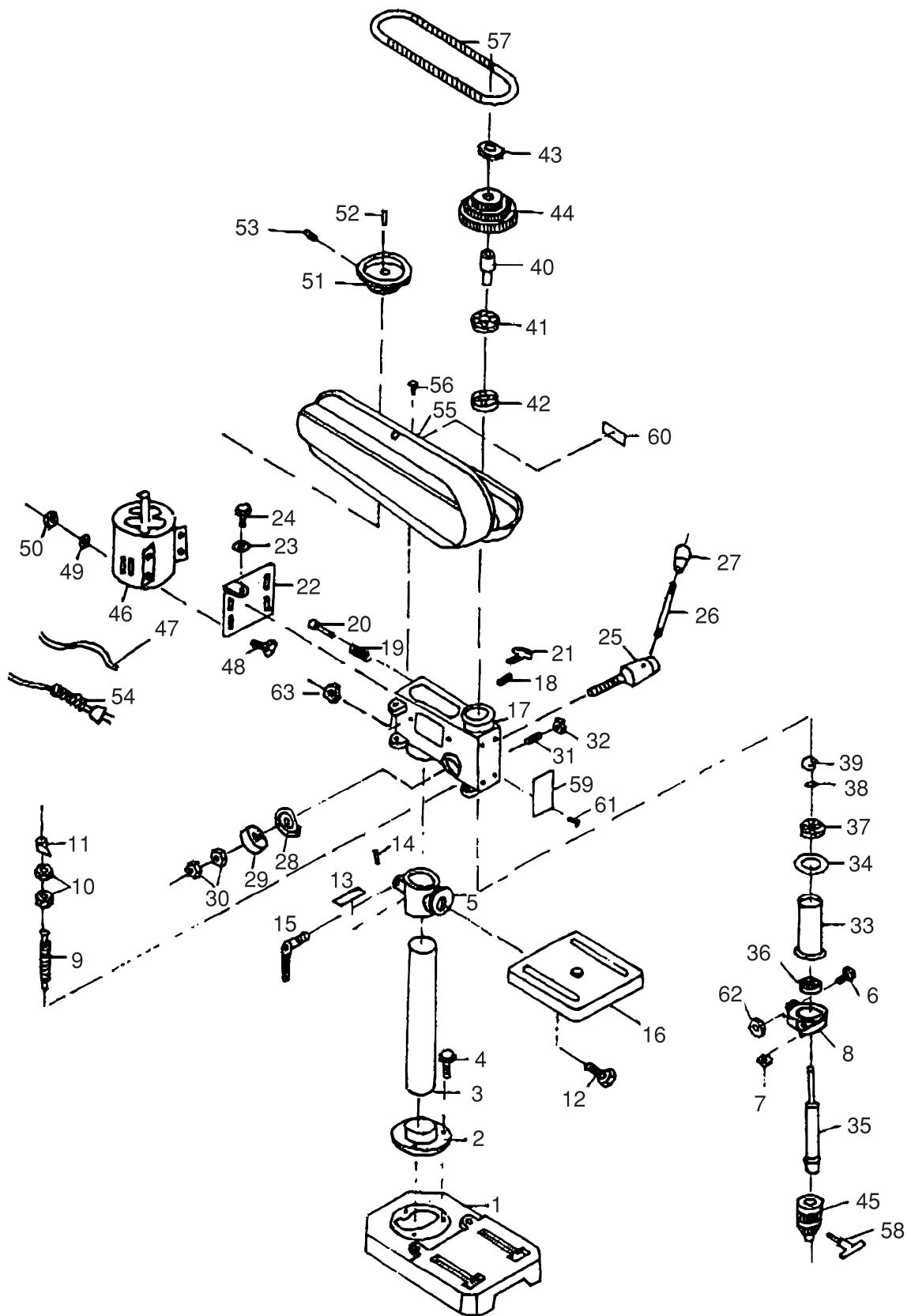
\*木工ドリルは、左記の図にあるような先が三角になっているものをご使用ください。先が、ネジになっているようなタイプの木工ドリルでは、本体の回転が止まる、チャックがはずれる事がございます。また、材料が浮かび上がり大変危険です。

### ●木工ドリルでの穴あけ作業

ドリル径	1	2	3	4	5
3~6mm	◎	○	△	△	△
9~9mm	○	◎	△	△	△
10~15mm	×	×	○	○	○
18~21mm	×	×	×	○	○
22~24mm	×	×	×	×	○

## ■保守方法

- 年に1回ぐらい、定期的に分解手入れをしてください。
- 回転部には、切削クズやゴミが詰まらないように取除いてください。
- テーブルや支柱に自動車用ワックスを塗ると、表面がいつまでもきれいに保てます。
- ベアリングにはグリスが詰めています。回転部、移動部には定期的に油をさしてください。
- 本機について故障の場合又は、お取扱い上の不明な点がありましたら、お買い上げ店、又は、当社にお問合せください。



## ■部品明細

1. ベース	35. 軸
2. 支柱ホルダー	36. ボールベアリング
3. 支柱	37. ボールベアリング
4. ボルト	38. リング
5. テーブルブラケット	39. リング
6. イモネジ	40. スリーブ管
7. ナット	41. ボールベアリング
8. セットリング	42. ボールベアリング
9. ボルトセット	43. プーリーナット
10. ナット	44. クイル側のプーリー
11. 目盛り	45. チャック
12. テーブル止めボルト	46. モーター
13. 角度定規	47. モーターワイヤー
14. ネジ	48. ボルト
15. テーブル締めハンドル	49. ワッシャー
16. テーブル	50. ナット
17. マシンケース	51. モータープーリー
18. イモネジ	52. 止め具
19. スプリング	53. プーリー止めイモネジ
20. スライドバー	54. ワイヤー
21. スライドバー bolt	55. プーリーカバー
22. モーターベース	56. プーリーカバー固定ネジ
23. ワッシャー	57. Vベルト
24. ボルト	58. チャックハンドル
25. フィードシャフト	59. スイッチ
26. ハンドルバー	60. スピードラベル
27. 握り手	61. ドライブネジ
28. スプリング	62. ナット
29. スプリングカバー	63. ナット
30. ナット	
31. ネジ	
32. ナット	
33. クイル	
34. ゴムワッシャー	

総発売元

## 藤原産業株式会社

本 社：〒673-0403 兵庫県三木市末広3丁目8-61

Tel.0794-83-3131(代) Fax.0794-83-0897

情報サービスセンター：〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1

Tel.0794-86-8200(代) Fax.0794-83-5160

東京支店：〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9

Tel.048-268-3939(代) Fax.048-268-9191

九州営業所：〒841-0054 肴賀県鳥栖市蔵上町339-6

Tel.0942-81-2307(代) Fax.0942-81-2308

札幌営業所：〒003-0002 札幌市白石区東札幌2条5丁目2-1山忠ビル

Tel.011-841-6007(代) Fax.011-841-7139

仙台営業所：〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在字東通り44-1

Tel.022-287-5739(代) Fax.022-287-5766

中部営業所：〒471-0861 愛知県豊田市八幡町3-4

Tel.0565-34-3339(代) Fax.0565-36-1550

広島営業所：〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11

Tel.082-875-7211(代) Fax.082-850-0311

匠台商品センター：〒675-1322 兵庫県小野市匠台11-2

Tel.0794-64-0300(代) Fax.0794-64-0316

F.K.D.C：〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目18-1

Tel.048-266-2811(代) Fax.048-269-9900

[関東デリバリーセンター]